

町民懇談会（令和元年度6月）

○開催日時：令和元年6月11日（火）午前10時

○開催場所：矢巾町公民館3階大研修室

○参加人数：37名（ゲストスピーカー、傍聴者、事務局を含む）

ゲストスピーカー

さ さ き ひろ ゆき
佐々木 広 之 さん

たか はし み き
高 橋 美 紀 さん

たに むら めぐ み
谷 村 芽 美 さん

なか の し のぶ
中 野 忍 さん

ほし よう じ
星 洋 治 さん

よし だ しょう た
吉 田 将 太 さん

【町長あいさつ】

今回は30代から50代までの方々に集まっていただき「産業の活力を高めるまちづくり」という農業・商業・工業振興、そして観光振興といった本町にとっては根幹をなすところの話題について意見交換させていただきます。

【自己紹介】

6人が自己紹介

【意見交換（各自の発言要旨）】

佐々木さん：

- 今年9月に岩手医科大学附属病院が矢巾町に開院予定となっています。医大に行ったことがない岩手県民はほぼいないと言っていいほど岩手県にとっても重要な位置付けなのではないかと思います。
- 今まで矢巾町は「特徴のないことが特徴の町」、「変わりゆく町」がある意味、観光となっておりました。これからは「本物の観光・物産」が必要になってくるのではないかと思います。
- これからは、人が乗れるドローンが出てくると思います。例えば、南昌山付近にドローンの発着所があっても良いのではないかと思います。

- 矢幅駅前ロータリーの上に歩道をつけて、そこに商業施設をつくり、駅前の活性化につなげてはどうでしょうか。
- 徳田橋の架け替えについて5年後と伺っております。昔、盛岡市の大ヶ生金山から金を発掘して矢幅駅まで運んでいたという歴史があります。このことから、大ヶ生から矢幅駅までを「黄金の道」と名前を付け、ウォークラリーや宝探しといったイベントを行いながら、観光のひとつとしていくことも良いと思います。
- 6次産業化について、矢巾町はなかなか進んでいないのではないのかと思っております。ガラス張りの6次産業化の工場を併設した産直、お土産コーナー、矢巾町内外・岩手県内外でとれるものを集めて、首都圏や世界へ発送するような施設をつくることできれば良いのではないかと思います。また、盛岡南公園も近いので、大型バスの駐車場も併設できれば良いと思います。先般、全天候型ドームの建設についての話題もありました。これらの建設場所については、矢巾スマートインターチェンジ付近が良いのではないかと個人的には思っております。
- 岩手医科大学附属病院の開業に合わせたアクセスについて、後手となっているのではないかと強く思います。

町長：

- 「特徴のないまち矢巾町」から「変わりゆく矢巾町」にしていきたいというお話があり、「本物の観光・物産」がこれからの大きな目玉になるとのことでした。
- 「本物の観光・物産」のためには、ドローン、黄金の道、矢巾スマートインターチェンジの利活用、道の駅を含めた盛岡南公園との連携した取り組みといったことを考えていく必要があるということでした。
- 岩手医科大学附属病院の開業に合わせた対応が後手となっているというご指摘でありましたが、今後は9月21日の開院に向けて遅れることなく対応していきたいと思います。
- 大ヶ生は、金山の他にも雅子妃殿下の曾祖父である山屋他人の先祖が眠っているところでもあることから、大ヶ生と連携した観光づくりもできるのではないかと思います。

高橋さん：

- 矢巾町は、子育てや高齢者施策について力を入れている町です。
- 定年のない矢巾町であつたら良いと思います。会社はある程度の年齢になると定年退職となりますが、定年を迎えた人たちが仕事をできるように町の方でバックアップし、いくつになっても町民全体が元気に働くことができる定年のない町にしていけたらと思います。
- JRの線路を中心として、西側には温泉や自然があり、東側にはいろんな店等がある。あらためて大きな建物をつくったりするよりは、今ある資源の掘り起こしをして、「矢巾の見どころ・聞きどころ・歩きどころ」をつくっていけたら良いなと思います。
- 天気の良い朝にやはば一くの東側の窓に朝日が映るととてもきれいです。例えば、やはば一くから初日の出を見ようとか、その他にも町内のビュースポットを町民から教えていただいてJRと連携して観光づくりをするもの良いと思います。盛岡駅から電車で行くと片道240円と高くないので、気軽に公共交通機関を使って町外からも来ていただければ

ると思います。

- 万人受けするものも良いが、マニア受けする観光スポットも掘り下げていければと考えています。
- 医大が来ることによって矢巾町は、いろんな商売をしたい方やチャレンジしたい方が出てくると思うが、出店する場所や空き店舗がないという状態です。土地建物を一から準備して創業するのは大変です。全国には建物をリノベーションしたり、コンテナを使ったりしているところもあるので、あまり費用がかからない方法で容易に出店できるようにし、多くの方々が矢巾町を賑わせることができるように期待したいです。

町長：

- 高橋さんの意見で、観光等について今あるものを掘り起こすこととのことでしたが、その通りであると思います。
- 徳田屋さんの近くから見る朝日はきれいであるお話を伺いました。徳田屋さんの前の道路（県道矢巾停車場線）で、新年に矢巾町消防団出初め式の行進を行いますが、西側を向くと南昌山もきれいに見えて素晴らしいです。

谷村さん：

- 勤労者への支援の充実ということで考えてみました。
- アパート等の清掃を経営していますが、働く人がいないと仕事が成り立たない業種であり、常に求人をしているが人が集まって来ないという状態です。会社の就労形態にもよりますが時間や条件が合わなかったりして採用に至らないこともあります。
- 託児所が増えているとは思いますが、0～1歳のお子さんも保育園に預けることができれば、働きに出ることができる人もいないかと思っています。
- 短時間で働きたいお母さんたちもおり、会社としてもそのような方が多くいれば、短時間で仕事を回せることができるようにシフトを組んだりすることも可能であると考えています。

町長：

- 谷村さんのお話は、ワークライフバランスということですね。
- 短時間でも働きたいと思っているお母さんのために、低年齢児の保育の充実を図ってほしいということだと思います。
- 人手不足の解消と、保育園や子ども園の充実に取り組んでまいります。

中野さん：

- 西部地区には観光資源や観光スポットがたくさんあります。
- 南昌山、ぬさかけの滝、矢巾温泉、城内山展望台、スミつけ祭り、煙山ダム、煙山ひまわりパーク、町営キャンプ場、安庭線の桜並木ロードの今後の活用について考えてみました。
- 桜並木ロードについて、矢巾スマートインターからのアクセスも考慮しながら、歩道を確保できるように整備してほしいです。

- 煙山ダムの堰堤は景観がとても良いです、現在、立木があるため遠くからダムが見えない状況ですが、清水野地区からダムが見えるようになれば良いと思います。
- 町営キャンプ場について、オートキャンプ場も併設してほしいと思います。オートキャンプ場を整備すると全国から人が来ます。そして、旅好きな人たちにSNSで矢巾町の名前を広めてもらいたいです。
- 煙山ひまわりパーク来場者や町営キャンプ場利用者のために、多目的に使用できる水洗トイレが必要になってくるのではないかと思います。
- 煙山ひまわりパークの駐車場が立派にできましたので、絵の描いた案内板も設置していただきながら場所を周知することをお願いしたいし、イベントを開催して活性化を図ってほしいと思います。

町長：

- それぞれのところに案内板を設置して、観光コースをつくり巡ってもらうようにしなければならないと思っております。
- 安庭線の桜並木について、山王茶屋から歩道を歩きながら桜を見ることができれば最高だと思います。
- トイレの水洗化については、簡易水洗トイレという選択もあるのでこのことについてすぐ行ってまいります。
- 城内山の展望台から矢巾町を一望できる光景は最高です。
- 観光資源の掘り起こしをして、いつでも見ることができるような環境づくりにも取り組んでいきたいと考えています。

星さん：

- 公有地を活用した地域内の住宅産業の育成について提言したいと思います。
- 市街化区域内に住宅用地はほぼ無い状態であるが、盛岡市をはじめ県内他市町村から矢巾町に住宅建設したいという方の需要はあります。
- 町としても民間からの提案で、市街化区域の拡大の試みを行っていることは承知していますが、町外の業者による開発、住宅建設についてもほぼ県外の手住宅メーカーや町外の会社です。1世帯当たり数千万円というお金がほとんど町外に流れていくのはもったいないと感じています。
- 矢巾町は人口が増えていますが、将来的にはどのようなになっているかはわかりません。市街化区域を拡大していくことは必要だとは思いますが、ある程度の計画性がないとだめだと思います。土地の供給量が増えれば値段が下がります。現在、矢巾町は盛岡市の一部の地域よりも値段が高くなっております。
- 市街化区域内に広大な公有地があります。将来的にも持続するような住宅用地として、かつ、町内業者による建築を限定付けさせるような土地開発、土地利用を考えていっても良いのではないかと思います。
- 単純な住宅ではなく、例えばエネルギーをあまり使わないとか、体にやさしい住宅が良いと思います。紫波町でも実践しており、地元の工務店さんが頑張っております。このこともふまえ矢巾町でも先進的な住宅用地の開発について取り組んでいた

だきたいと思います。加えて、地域の住宅産業の育成、発展にもつながると思いますので提言させていただきます。

町長：

- 市街化区域の拡大については、県を通じて東北農政局に 33 h a 分についてお願いしているところです。都市計画サイドは承諾を得たので、あとは農業サイドの回答を待っている状況です。
- 土地開発と土地利用のあり方について、特に環境に配慮した先進的な取り組みについて考えてほしいとのことでした。
- 矢巾町は人口が増えているとはいっても、町の出生率は 1.2 人台です（国の平均は 1.7 人台）。人口減少の問題は他人ごとではないので、市街化区域を拡大する際にはその背景を捉えながら検討していかなければならないと思います。
- 空き家対策に、リバースモーゲージの取り組みを考えていきたいと考えております。
- 地元の住宅産業に関わっている方々が、一団のグループをつくって住宅用地の開発をすることは大事なことです。今後、内部で検討させていただきます。

吉田さん：

- 矢巾町には、煙山ひまわりパークやかっこうグラウンドなど、イベント利用ができるような大きなスペースがありますが、屋外でのイベント開催で一番心配なのは、雨の時どうするかということだと思います。
- 冬期間、役場の駐車場にたくさんの除雪車が置いてあるが、その除雪車を入庫する車庫を設置し、夏になったら除雪車は返して、雨が降ってもその車庫をイベントスペースとして活用できるようにしてはどうでしょうか。
- 矢巾町の P R の仕方について、観光のみならず物足りない感じがします。私たちの世代だと、イベント開催の告知はほとんどインターネットでの入手になります。「町ホームページに載っているからいいや」ということではなく、イベントを主催する矢巾町だからこそできるドローンでの撮影をして、映像として 유튜브 に P R 動画をアップするとか、翌年に P R のために配信したりすれば、従来よりイベント自体の内容もわかりやすくなるし、動画を見て「イベントに行きたい」と思う人たちも増えるのではないのでしょうか。もっと、ドローンを使ってほしいです。
- 矢巾町に医大が来ることによって工業や商業の環境が大きく変わっていくと思いますが、今から工場を誘致すると言っても、例えば安く大量生産する工場だと国内では存続できない状況です。
- 矢巾町が目指すものは、「グローバルニッチ（＝少数の生産でいいが、他社が進出していない市場の隙間、特定市場分野で付加価値のあるものをつくる）」であると思います。
- 矢巾町に立地していることが障害にならないような高度なハイテク産業や医療系の産業などを誘致していくべきであると考えます。
- 薬王堂（矢巾町）とセルスペクト（盛岡市）が、共同で採血をする事業を立ち上げており、薬王堂に行くと無料で 8 項目の血液検査（10 分程度）できるサービスを提

供しています。このように地域に根差して独自に活動している企業もあるので、矢巾町としても積極的に関与していても面白いと思います。

町長：

- セルスペクトの社長さんの講演を聞いたことがあるが、とても独創的な発想でいろんなことに取り組んでおられます。
- 町内には千を超える事業所があるので、よその地域の成功事例も参考にしながら取り組んでいくことが大事であると思います。
- 医大附属病院が矢巾町に移転するので、町としても保険・医療・福祉の分野にしっかり取り組んでいきます。

中野さん：

- 先程、佐々木さんから6次産業化の話がありました。自分はふるさと納税の返礼品に加工品を出品しています。加工品に限らず「矢巾ブランド商品」として町が認定をする制度があったら良いのではないかと思います。町が認定することによって販売の際に、例えば認定のシールを付けるなどして「町の特産品あるいは認定品」なので安心であることを示すことができれば、少しでも矢巾町のイメージアップにつながるのではないのでしょうか。

町長：

- ふるさと納税の話が出ましたが、矢巾町が苦戦しているのは地場産品がないことです。認定制度については、県工業試験場や産業振興センター、岩手県産、有識者から指導をいただきながら、前向きに考えていきます。

高橋さん：

- 矢巾に行かなきゃ食べられないとか、矢巾のでなければならいというものをつくるという取り組みは必要であると考えます。
- 先般テレビで変形した大根を売るために袋に顔を描いたら、ばか売れしたことを放送していましたが、一捻りすることで商品化できるものがたくさんあると思います。
- 大きくなくても良いので、町内で生産したものを町内で加工できる施設があれば良いのではないかと感じます。

町長：

- 昔は農家で凍豆腐や豆腐をつくったりしたものです。徳丹城跡にある佐々木家曲家で凍豆腐をつくって、佐々木家曲家を訪れた人たちに買ってもらうことができれば良いと思います。また、徳田屋さんの店舗で田楽豆腐を売ったら子どもたちも喜ぶと思います。

谷村さん：

- 子どもがハンドボールをやっております。親たちの間では、ハンドボールができる

施設をつくってほしいという話があります。町民体育館を使うとなるとあまり空いていないので、最近では、矢巾中学校、矢巾北中学校の体育館で行っておりますが、遅い時間からしか使用することができない場合もあります。土日祝日で空いている体育館があれば良いと思います。

- 花巻市総合体育館はたくさんコートがあります。そこまで大きくなくても良いので、みんなで使えるような体育館があと一つぐらいあっても良いと思います。
- 南昌グリーンハイツの修繕に多大は経費がかかると思いますが、今後どのようにしていくのでしょうか。子供たちは近場でプールに入りたいが、紫波町のラ・フランスや盛岡市のユピアスでは小さな子どもにとってはプール層が大きいので、南昌グリーンハイツぐらいのプール層の大きさぐらいがちょうど良いようです。もし、修理して使えるのであれば、また再開してほしいという思いはあります。

町長：

- 町内各小中学校には体育館やプールがあります。現在のところプールは夏場だけの使用となっているので、年中使用できるプールがあればと考えております。
- 雫石町にある県営プールは老朽化しており、県の水泳連盟からも矢巾町に県営プールを誘致してほしいと要望を受けております。
- 町民総合体育館や旧アイワのサブ体育館も老朽化しています。プールも併せて既存のものをいかにして1か所に集約していくかということについて基本構想をしっかりと定めて考えていきます。
- 全天候型ドームについてですが、盛岡市三本柳にあるふれあいランドを大きくしたものをイメージしていただければと思います。災害時には防災ドームとして使えるなど多目的に使用できるものを皆さんと話し合いをしながら考えていきたいと思っています。
- 矢巾町からオリンピック、パラリンピックの選手を輩出できるよう競技スポーツ、生涯スポーツが可能な全世帯型のスポーツ施設を考えていきたいと思っています。

佐々木さん：

- 矢幅駅の駐輪場の使い方が良くないと感じております。モラルの問題もあると思いますが、医大附属病院が開院した際には、駐輪場が不足するのではないかと心配しております。
- 町では放置自転車を取り締まったりして整理しておりますが、それでも駐輪場が満車の状態です。
- 歩道にはみ出して駐輪している状態であり、時折歩行者とのトラブルも発生しているため、改善が必要だと思います。
- 矢幅駅前に、町内の主要施設や観光場所を記載した案内板の設置、もしくは矢幅駅構内にお土産販売も含めた観光案内所の設置を考えてほしいと思います。
- 観光や物産について周知する手段が少ないと思います。インターネットとかパンフレットなどでの周知する方法もあるが、特にお年寄りにとっては観光案内所のようなどころが必要であると思います。

町長：

- 駐輪場は調査をして実態を把握した上で、駅前、駅西の駐輪場が不足しているのあればすぐ対応します。
- 観光案内所について、できれば観光案内のみではなくワンストップサービスができるようにＪＲ等とも協議していきます。現在あまり活用されていない駅構内のインフォメーションコーナーを利用してすぐ対応します。

吉田さん：

- 町では県道の花いっぱい運動を行っているが、多くの町民がボランティアで参加しているのでドローンによる撮影を行い、活動について町内外に積極的にＰＲしてみてもどうでしょうか。その映像を見て、町内にあってはボランティアの参加が増えると思うし、町外にあっては植えた花を見に来てくれると思います。

事務局：

- 花いっぱい運動の際のドローンの撮影につきましては、土地所有者の許可を得るなどの条件や安全面の対応がありますので、それらの条件をクリアできるのであれば撮影を検討してまいります。

町長：

- ＡＩ、ＩＣＴ、ＩｏＴといった時代なので、そういったものを駆使して観光をはじめ農業、商業、工業に活かしていきたいと思います。

中野さん：

- 花いっぱい運動をドローンで撮影することには関心があります。地権者と国土交通省の許可をとれば十分可能ですので取り組んでほしいと思います。

星さん：

- くるみアパートメントの中に、レンタルできる食堂の営業許可をとったスペースがあります。一般の方も利用できます。農業の方々が自分で育てた農産物をその場で加工して販売してＰＲできる施設となっております。30人ぐらい収容できるスペースとなっておりますので、6次産業化に向けたサービスにも利用いただけたらと思っています。
- 今月末にはマルシェイベントも開催予定ですが、できれば定期開催できれば楽しいのかなと考えております。
- 町の中全体で朝市のようなことができるようであれば楽しいと思います。
- 私どもは、場を提供してみなさんにはそこをうまく利用していただいて産業の活性化に繋がるようなことに取り組んでいただければと思います。

高橋さん：

- 盛岡市材木町では「よ市」を開催しています。矢巾町では「や市」というネーミングで開催すれば良いのではないかと本日のゲストスピーカーの佐々木さんが話して

いたことがありました。

- 駅前にあるねむの木公園でテントを張ってイベントを開催すれば、通りがかりの人でも何かやっているということで寄ってくれると思います。
- イベントを開催するにあたって心掛けなければならないことは、1回で成功すると考えてはいけない、最初から儲けを期待してはいけないということです。継続していくことが大切なことだと思います。
- ねむの木公園ですが、クローバーが密集していて子ども達が4つ葉のクローバーを見つけたり、花で冠をつくったりしています。適度に自然が残っており、子どもの好奇心を高める公園だと思います。
- 神子田の朝市が南大通にあったときは、旧矢巾中学校にある自転車置き場だったところのように屋根のかかったところで開催していた記憶があります。このことから、町としてもせっかく屋根のかかった自転車置き場だったところを活用し「や市」を開催することができると思います。

町長：

- 「や市」というネーミングはいいですね。医大附属病院が開院する前にはじめられるようにしたいですね。

傍聴者 A：

- 昔、矢幅駅前でにんにく味噌をぬった豆腐田楽を食べた記憶があります。このような矢巾らしいものを駅前でつくってほしいと思います。
- 「や市」の話もありましたが、このことも積極的に取り組んでもらえれば良い矢巾になると思います。
- 西部地区の観光について、煙山ひまわりパーク、松並木や町営キャンプ場などを上手く使って、通年観光できる場所を積極的にPRしていければと思います。

中野さん：

- 松くい虫で死んでしまう松もありますが、10年後、30年後の未来に現在のような風景を残すためにも、今改植や植樹をしていかなければならないと思います。

傍聴者 B：

- 矢巾町においても、農業が活性化しなければ発展はないと思います。仮に農産物の加工場をつくったとして、加工品をどのようにして全国に発信にしていけるかということが問題となるので、行政、JRその他関係機関等が協力していかなければならないと思います。農業が活性化すれば矢巾町はまだまだ発展の余地があり、それに伴って観光も商業もついてくると思います。

佐々木さん：

- 6次産業化についてお話しさせていただくと、矢巾町は1次産業と3次産業はたくさんありますが、町内には2次産業（加工）がほぼありません。町内のものを町外

で加工し、いろんなところで販売するとなると一貫性がなくてとてもちぐはぐな感じがします。2次産業のところが非常に金がかかることはわかっていますがそこをクリアしないと6次産業化は完成しないと思います。

- ものを売る立場として言わせていただければ、売り先を考えながら6次産業化を進めていった方が良いのではないかと思います。
- 自分の実家も農家ですが、田を貸していても手元に金が残らない状況です。60歳になったら農業をやろうと思いますが、儲かる農業を目指したいと思っています。

星さん：

- 農業が活性化すれば、観光だけでなくいろんな分野が勝手についてくると思います。以前から矢巾町の野菜や米が美味しいと感じていますが、これらのものをどのように見せていくのかということが大事です。いろんな方法があると思いますが、例えば、町内で定期的なマーケットを行うことによって購入を目的に来る一般の消費者の他にプロの料理人も来るのではないのかと思います。中には、矢巾町で商売したい人たちも訪れるかも知れません。また、農家の方々がレストランを経営するといったこともできると面白いと思います。そうすれば矢巾町は住みたい、遊びに行きたい町になってくのではないのでしょうか。
- 高橋さんがいうマーケットはやりたいという方がいれば、すぐにでもできるのではないかと思います。
- ねむの木公園はお借りすることはできるのでしょうか。

町長：

- ねむの木公園は貸すことができます。
- さんなりまつりはまだありますか。

高橋さん：

- さんなりまつりは開催していません。以前は、さんなりまつりで石碑を3つ作りました。今はどこかに保存されているようです。
- 今度又兵エ新田地区の地名が変わることによって、又兵エ新田を開拓した五日市又兵衛の由来などを記載した看板をねむの木公園に設置しても良いと思います。

佐々木さん：

- 以前、矢幅駅前協同組合がありましたが、矢幅駅前地区土地区画整理事業を行うにあたり解散しました。その時にさんなりまつりはなくなりました。
- 一昨年、さんなりまつりを復活しようとしたのですが、当日雨が降り中止となり、それ以降は開催に至っておりません。
- 組合でなくても、何かをやろうという機運は高まってきています。

傍聴者 C :

- 町の発展には産業の発展が一番であると同時に農業の発展も大事であると思っています。
- 東徳田、間野々地区にビニールハウスを建てて、清掃センターにあるお湯の熱エネルギーを利用してイチゴの栽培をしたり、北上川沿いにちょっとしたサイクリングロード整備するなどして、観光につなげていければと思います。

谷村さん :

- ゴミ処理場の熱を使って温水プールなどの施設も良いと思います。
- 矢巾町の東側はひらけていると思いますが施設は少ないと思います。

吉田さん :

- 矢巾町のホームページなどでは蛍が飛んでいるなどの記事がなかったと思います。PRをしてほしいと思います。
- 学生の頃、横浜市に住んでいましたが山間部に行くと蛍がいるので、市民に向けて蛍の鑑賞会を開催してPRをしていました。町内にもたくさん蛍がいるのであれば、観光に有効活用できるよう検討をお願いします。

高橋さん :

- 商売を行っています。医大関係のお客様に加えて、地元のお客様にも支持していただかないと成り立たないと思っています。そのためには、是非とも人口が増えてほしいです。
- 私は子どもを2人育てましたが、現在の保育制度による保育料では、2人目は半額、3人目は無料となっていますが、同じ時期に保育園に入園していることが条件であり、間隔を置かず子どもを産まなければなりません。
- 矢巾町独自の子育てシステムとして、例えば世帯に子どもがいる分。子育て支援をしていただき、子どもたちには長く矢巾町に住んでもらうことが私の理想です。
- 大人の方にも、矢巾町に10年住んだら減税するとか、50年住んだら減税率をアップするなどして、矢巾町に長く住んでいただくための矢巾町独自の優遇制度をつくってほしいと思います。

町長 :

- 高橋さんからご提言いただいた矢巾町独自の子育てシステムについて内部で検討させていただきます。画一的な子育て支援ではなく、ある意味ではフリーサイズの子育て支援ができるような対応を考えてまいりたいと思います。

【町長所感】

本日は、6人のゲストスピーカーさんから、いろいろご意見やご提言を賜りました。また、傍聴していただいたみなさんからも、限られた時間ではありましたがお話しをお聞きすることができました。私にすれば、2回目にしては良い懇談会だったと思

っています。これからも、町民懇談会は毎月1回開催していきます。

ゲストスピーカーのみなさん、今後ホームページで町民懇談会の内容について公開させていただきますのでご了承くださいと思います。

お忙しいところ、傍聴していただいた皆様に感謝申し上げまして、本日の町民懇談会を終了させていただきます。